



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮YMCA内
☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2013年1月会報 第292号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P) Philip Mathai (インド)

主題: "Be the light of the world" 「世を照らす光となろう」

標語: "Share your blessings in love" 「恵みを愛もて分かち合おう」

アジア地域会長(AP) Oliver wu (台湾)

主題: "Years bring wisdom" 「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」

標語: "Action vitalize life with strength" 「行動が活力を呼び覚ます」

西日本区理事(RD) 成瀬 晃三 (名古屋)

主題: 「先頭に立ってワイズの光を輝かそうクラブで、地域で、国際社会で」

"Let Y'smes Light Shine before Others

In the club, in the community, in the world"

標語: 「ワイズメンの満足度向上を真摯に取り組もう」

"Devote Yourself to Y'sdom and Get More Satisfaction!"

六甲部長 上野 恭男(芦屋)

主題: 「柔軟な創造で愚直に積極的なワイズライフを楽しもう」

宝塚クラブ会長 長尾 亘

主題: 「原点に帰って、楽しい例会」

"Back to the Origin!! Joyful Meeting."

今月のテーマ:IBC(国際兄弟クラブ)、DBC(国内兄弟クラブ)

主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。あなたがたの広い心がすべての人に知られるようにしなさい。

フィリピの信徒への手紙4:4

2013年1月第1例会

日 時: 2013年1月9日(水)18:30

場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間

会 費: 会員3,000円、会員外3,500円
ドライバー

武田 寿子

今田 稔

開会点鐘

長尾 亘会長

ワイズソング

全 員

聖 書

杉谷 和代

祈 祷

青柳美知子

ゲスト・ビジター紹介

長尾 亘会長

入会式

坂田 昌鴻氏

1945年生まれ海外勤務が長く

現在もタイでの仕事が多い

会 食

2分間スピーチ 「新年に思う」 全 員

アトラクション お楽しみ!

誕生日のお祝い

会長報告

長尾 亘会長

YMCA 報告

谷川 尚連絡主事

閉会点鐘

長尾 亘会長

2012/13 役 員	会 長 長尾 亘 直前会長 山崎泰男 副会長 多胡葉子 書 記 若林成幸 会 計 吉田 明 会計監査 今田 稔 メネット連絡 福田素子 連絡主事 谷川 尚 六甲部地域奉仕環境事業主査 山崎泰男 西日本区交流事業主任 石田由美子
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 多胡 葉子 地域奉仕・環境 山崎泰男、E M C 福田宏子 交 流 石田由美子 ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 三品ミチ子 じゃがいも 福田 肇 バザー 山崎泰男 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	水谷恭子(1月1日) 堀江裕一(1月12日) 武田建(1月19日) 武田寿子(1月25日) 山崎初子(1月30日)
12 月 実 績	在籍会員数 24名 例会出席者数 38名 うち会員数 19名 出席率 79.2% メイクアップ(内数) 0名 メネット 4名 コメント・マゴメント0名、ゲスト・ビジター15名 BFポイント 12月 0円 累 計 26,960円 にこにこBOX 12月 1,000円 累 計 15,000円 物品販売累計 5,300円

「2013 年会長、新年挨拶、抱負」

会長 長尾 亘



明けましておめでとう御座います。いよいよ 2013 年が始まりました。

今期会長になりまして、半年の例会を終えました。特に 12 月は宝塚クラブらしいクリスマス例会を 1 部は礼拝を岩国クラブの辻建ワイズ(牧師)の奨励と大阪土佐堀クラブ今村一之ワイズのコメントの山内雅子さん(音楽家)の伴奏とパイプオルガンのミニコンサートをして貰いました。礼拝席上で「地球市民育成プロジェクト」支援目標に献金を集める事が出来ました。2 部がクリスマス例会であり、改めて開会点鐘で始まり、ワイズソング、美味しい料理とアトラクションはウクレレ伴奏で今年はフラが無かったのですが、クリスマスソングを皆で歌いました。

おかげさまで他クラブも沢山参加して頂き、38 名の素晴らしい例会ができました。

そして 12 月例会から二日後には宝塚クラブ恒例の「クリスマスキャロルの夕べ」が今年も感動の内におわり、成瀬西日本区理事の参加も頂き、次の日の朝、朝食例会を持ち感謝です。そして沢山の賞賛、感想を頂きましたので、特別号を考えています。

2013 年が始まりました、宝塚クラブは 25 周年記念例会を 5 月 25 日(土)に行う準備をクラブあ



げて行われています。改めてご案内しますので、是非ご出席下さい。

12 月第 2 例会報告

12 月 19 日(水)18 時 30 分からハッピーハウスにおいて第 2 例会を行った。出席者は、長尾会長、吉田、堀江、山崎、多胡、石田、福田宏、若林各メン。

1. 報告事項：

- ① 12 月 23 日六甲部交流事業委員懇談会、参加者；石田、杉谷。引き続き芦屋クラブクリスマス例会。参加者：石田、杉谷、福田宏、水谷、多胡、堀江。
- ② YY フォーラム 1 月 12 日(土) 13 時から、神戸 YMCA にて。テーマ『個性』の伝道師たちがやってくる」参加者；多胡、石田。参加希望者は会長まで連絡のこと。

2. 新入会者の承認

坂田昌鴻氏の入会を承認し、1 月例会において入会式を行う。プロフィール別記。

3. 1 月例会の運営

入会式。出席者全員から「初夢を語る」を披露。アトラクションとして山崎夫妻による手品。

4. その他

- ① 市民クリスマス募金の取り扱い
募金額 169,363 円。100,000 円を東日本大震災救援、残額を国際協力募金に振り分ける。
- ② 2 月例会：EMC 事業主任 米村謙一氏(熊本むさし)による「クラブ自己診断」。3 月例会：阪神自立の家所長、石田英子氏を予定。
- ③ アジア大会 8/2~4, マニラ参加者募集。
- ④ NGO 展、3/9~10. 出展内容の検討。
- ⑤ ブリテン 1 月号の投稿分担、編集・発送日程を確認した。

(若林)

市民クリスマス
「キャロルを歌う夕べ」

12 月 14 日(金)夜、宝塚ベガ・ホールにほぼ満席のお客様を迎え、第 8 回目となる市民クリスマスが開催され、出演者の熱演とそれに応える観客の大きな拍手があり、ホールいっぱいに感動の輪が広がりました。この催しを資金面から支えてくださった宝塚教会・甲東教会に、また、阪神間の教派を超えた 16 教会の有志と地域の音楽愛好家の皆さんに感謝を申し上げます。今回もポップンキッズの笑顔と熱演に大きな感動と希望を与えられましたし、関学の若い学生諸君からもエネルギーをいただきました。そして来場者には、東日本大震災救援募金をお願いし約 17 万円もの多くを頂きました。全額を被災地支援並びに神戸 YMCA の活動のために活用させていただきます。

このようにクリスマスの時期に多くの善意が寄せられ、共に豊かなひとときを過ごせたことを感謝申し上げます。

実行委員会 若林・長尾・吉田・多胡

収 入 の 部		支 出 の 部		円
教会協力金	150,000	ホール使用料	223,850	
運営協力金	140,415	ピアノ調律代	21,000	
ワイズ拠出金	149,637	出演者謝金	100,000	
		練習会場費	10,000	
		印刷代	19,019	
		郵送料	4,390	
		弁当・茶菓代	57,846	
		プレゼント代	3,947	
合計	440,052	合計	440,052	

(市民クリスマス会計報告)



市民クリスマスキャロルのようす

交流事業便り

先月のブリテンでお知らせいたしました六甲部主催「交流事業委員懇談会」が開かれました。

日時：2012 年 12 月 23 日(日)、16:00～17:30

会場：ホテル竹園芦屋・9F ラウンジ

出席クラブ； 全 8 クラブ

上野六甲部部長、廣瀬直前交流事業主任、岡山交流事業主査も含め、17 名の出席になりクラブ同士の意見交換も活発に行われました。

まず、この半年間の交流事業活動の報告を主任の石田から行いました。

1. その他 STEP を送り出したこと、
2. DBC・IBC の現状、
3. 自クラブ以外の交流にでかける(来年の西日本区大会、東日本区大会、マニラでのアジア大会)、
4. ホームページの交流事業通信のアピール。

その後、各クラブの DBC や IBC の交流活動報告がありました。

又、来年、周年記念を迎えるクラブは、芦屋(4/21)、西宮(5/18)、宝塚(5/25)、そしてさんだは

2/2 のバレンタインコンサートを 20 周年記念事業の 1 つとすること、神戸ポートは 9 月の六甲部会に 25 周年記念例会を組み込むこと、などの発表がありました。交流の大きなチャンスですので出来るだけ出席して大いに楽しみましょう！

興味深いアイデアも出ました。

1. シニア STEP があればいい、
2. 国際大会やアジア大会のバンケットのテーブルをインスタント IBC の機会として、事前に同席したい海外のクラブ名を指名できればいい、

等です。

予定の 90 分は短すぎましたが、その後、全員、芦屋クラブ 15 周年記念クリスマス祝会に席を変えて交流を楽しみました。

お骨折り頂きました関係者のみなさまに感謝です。

(交流事業主任・石田由美子)

【今月のみ言葉】

辻 建 牧師

最近のこどもたちは、お礼を言うのがへたというか、表現に乏しい。孫たちにお誕生日の品を工夫して買って送ってやっても、携帯で「サンキュー」の絵文字が入ってくる程度。もっと「おおげさ」に、「じいちゃん、ぼくが一番ほしかったもの、ありがとう」とでも、うそでいいから言ってくると、つぎはもっと喜ばせようと思うのだが。神さまはなにもかもお見通しだから、わたしたちの「おおげさ」は通用しないかもしれないが、でもお見通しだけにいっそう喜んで次の恵みを備えてくださるかもしれません。フィリピン宛の手紙には、繰り返し「喜びなさい」(カイレテ)がくり返されます。喜びは他にも伝播するものです。

誕生月 輪番シリーズ

心に残る身近な出来事

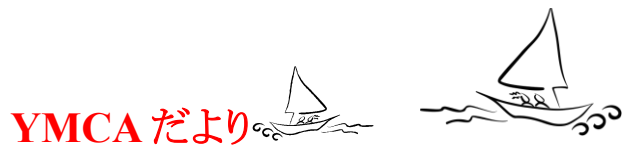
「トラキチのぼやき」

今期のこの小欄のお題は難題である。「最近」で、「身近」で「心に残る」ものなど、そうあるものではない。ことにトラキチにとっての最近は惨憺たるものである。石田由美子さんが 9 月号のこの欄に、イチローがマリナーズでの最終お別れ試合で、スタンディングオベーションをする満員の観衆の前で深々と日本流のお辞儀をした姿に感動したと書いたが私も全く同じ思いであった。

わが金本選手の引退試合での挨拶は「全ての人に感謝します」との謙虚な言葉、長嶋選手の「我が巨人軍は永遠に不滅です」が如き迷セリフは出なかった、とても心に残るものではない。スポーツの世界ではよく「結果を出す」という言葉を使う、実力、経緯、運不運はともあれ「いい結果」が出た時に言う。わが和田監督はシーズンが終わってからいい結果を出した、ドラフト会議で大阪桐蔭の藤波投手を引当てたのである。来年は心に残ることがあるかもしれない。

(堀江裕一)

YMCA だより



1、募金感謝

ワイズの方々には、いつも様々な形で YMCA の諸活動を支えていただき感謝いたします。また宝塚クラブの 12 月クリスマス例会礼拝での日本 YMCA 同盟地球市民プロジェクトへの献金、そしてキャロルを歌う夕べでの、会場での国際協力募金への呼びかけに、熱い思いを寄せていただき

感謝いたします。現在 YMCA では例年、世界中の災害や紛争にある地域やまだまだ多くの力を必要としている地域への支援を行うための国際協力募金とあわせて、2 年たとうとしている東日本震災への復興のための働きを中心に、募金活動や現地支援を行っています。東日本大震災の復興支援として、被災者や原発から神戸地域への避難の方々(公称では兵庫見県下には 408 世帯 1039 名が避難されているとのことですが、このほかにも放射能の影響から免れようと自主的に避難されている方など多数のかたがおられます)の支援として年間 4 回ほどのファミリープログラムの実施(しあわせの村などで YMCAらしいデイプログラムを行っています)、福島の小中学生の余島への年 2 回の招待キャンプの実施などを行っています。今後 3 年間は継続して行うと計画しています。国際協力募金、そして震災復興支援を忘れずご支援いただきますようお願いいたします。

2、2013 年度年間聖句、決定

去る 12 月 17 日(月)、役員合同クリスマス礼拝の前に、祈祷会が行われ、その場で年間聖句について検討しました。今年も有志から候補を寄せていただきましたが、その中から、以下の聖句が次年度の聖句として選ばれました。「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」(ローマの信徒への手紙 12:15)

多くの人と出会い、交わり、つながりあう YMCA ですが、本当に深い想像力をもって、喜びや悲しみに寄り添えているかが問われます。この箇所はパウロが「我々の隣人との関係」についての方針を示した一連の箇所の一部とされています。解説書には、泣く人と共に泣くのは難しいけれども、喜ぶ人と共に喜ぶことはもっと難しい、と言われています。この聖句を掲げながら、いろんなことを感じ、考える一年にしたいと思います。

3、今後の予定

1) 新春 Y Y フォーラム

毎年恒例となった Y Y フォーラム。ワイズ、リーダー、職員などが懇話をする中でいまの YMCA を語り合おうと企画しています。ぜひご参加ください。

日時：1 月 12 日(土)午後 1:00～5:00

場所：神戸 YMCA チャペル 他

テーマ：『個性』の伝道師がやってくる」

2) 特別講演会「いのちの輝き」

1 月 17 日は阪神・淡路大震災から 18 年目を迎え、また 3 月 11 日は東日本大震災 3 年目を迎えます。この両大震災の間の 2 月に「いのち」を考える特別講演会を開催します。長年、ホスピス医療の第一人者として活躍されてきた柏木哲夫先生をお招きして、ホスピスでのご経験や東日本大震災、また自殺やいじめなどの「いのち」の軽視を総括的に捉え、「いのちの輝き」の意味に迫っていただく会を計画しています。午餐会の拡大版として企画いたしました。是非、ご参加ください。

日時：2 月 16 日(土)正午～午後 2:30

場所：神戸 YMCA 4F サイコー亭

講師：柏木哲夫氏(淀川キリスト教病院 名誉ホスピス長、金城学院大学学長)

テーマ：「いのちの輝き」

3) ユースリーダーと会員の集い「Yカフェ」

会員活動委員会が主催して、ユースリーダー、ユースリーダー OBOG、また会員運動を支え、活動をしている会員の皆さんとお茶でも飲みながら、気楽な雰囲気の中で語り合える場です。是非、ご参加ください。

日時：2 月 23 日(土)午後 2:00～4:00

場所：神戸 YMCA 4F サイコー亭

内容：講演「私と YMCA 活動(安行英文さん)」とカフェタイム

谷川 尚(連絡主事)

【番外編】



2012 年 12 月 15 日 成瀬理事を囲んで朝食会